

保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会  
(第3回)  
議 事 次 第

平成30年7月4日  
10:00～12:00  
TKP新橋カンファレンスセンター ホール5B

1. 開 会

2. 議 題

- (1) 保育所等における保育の質の確保・向上について
- (2) その他

3. 閉 会

< 配付資料 >

- 資料1-1 村山中藤保育園「櫻」副園長 若山望氏提出資料
- 資料1-2 えひめ乳児保育園副園長 上岡米子氏提出資料
- 資料1-3 さくら保育園園長 森田達郎氏提出資料
- 資料1-4 ベネッセ日吉保育園園長 伊賀上知子氏提出資料
- 資料1-5 西ヶ原保育園園長 久保正子氏提出資料
- 資料2 今後の検討スケジュールについて (案)

## 村山中藤保育園「櫻」の保育実践について

平成30年7月4日（水）

村山中藤保育園「櫻」 若山望

### 【園の概要】

社会福祉法人 高原福祉会

村山中藤保育園「櫻」 東京都武蔵村山市中央1丁目28番地

定員 220人 職員31人（非常勤16人）

保育目標 人としての機能発達を重視し、自ら遊びに挑む子どもを育む

保育理念 人間が人間らしく育つ 子どもは自ら育つ力を持っている

保育者指針 ①命を預かっている

②パーソナリティ・心の形成期である

③発達段階に即し、意図的に誘導する

子どもが自主的自発的に活動しやすいよう、自ら学びを得られるよう、環境を整備する、環境整備者である

保育形態 0歳児～2歳児 小規模グループ保育

3歳児～5歳児 異年齢・同年齢保育

### 1. 子ども主体の保育

○一人一人の発達に合わせた保育（支援を必要とする子ども・一時保育児含め）

ありのままの子どもの姿を受け入れ、発達期を見極め、望ましい環境を整備し、保育園全体で保育する。

#### <具体的な配慮>

（ありのままの子どもの姿を受け入れる）

～心を感じながら接していく中で、多角的に洞察していく。

\*好きなこと・嫌なこと（好むこと・不得手なこと・感覚面）

\*分かること・分かりにくいこと（知的面）

\*扱いにくそうな体の動き（身体面）

（発達期を見極める・望ましい環境を整備する）

～1人ひとりの発達段階に合わせる（発達チェック表使用）

## 2. 保護者支援・関係機関及び小学校等との連携

### ○保護者・家庭状況に合わせた支援

“安心した子育て”に平等性をおいて考える。

家族支援も視野に入れ子どもにとって望ましい方向性を見極めながら支援する。

信頼関係を重視し、自ら子育てに意欲がもてるように親子の心を繋いでいく。

(子ども家庭支援センターなどとの連携)

\* 育児困難家庭など複雑な要因のある家庭の場合

～各機関で連携をとり役割を分担していく。

(療育病院の地域支援事業の活用)

\* 支援を必要とする子どもの主治医や言語聴覚療法士、作業療法士、理学療法士、心理などの療育機関の担当者等と、保護者の同意のもとで連携し、互いの専門性を活かし合い、子どもの育ちを支える。

### ○小学校との連携

(日常的な交流を行い保育内容に反映する)

\* 5歳児カリキュラムと繋がり、5～6年生保育体験、5年生と5歳児交流

\* 新任教諭研修受け入れ・学校運営協議会委員として参加

(就学にあたっての情報共有)

\* 保育児童要録(昭和44年ころより独自に実施)、就学支援シート作成

\* 子どもの個性を記入

\* 支援を要する個性は、関わり方や園での取り組みを記入

\* 入学前や就学後、訪問日を設け、子どもの観察や情報交換

# えひめ乳児保育園における保育の質向上の取り組み ～一人一人を大切に～



えひめ乳児保育園 副園長 上岡米子

## 【 えひめ乳児保育園の概要 】

- ◆昭和42年6月開園・愛媛県下で第1例目の乳児専門保育園（全国で第4例目）
- ◆事業 .. ○保育所の経営 ○地域子育て支援事業 ○一時預かり事業
- ◆定員60名（0歳児・18名 ・1～2歳児・42名）
- ◆職員・32名（育児休暇 2名含む）
- ◆保育方針・○自分を愛し、他人をも愛することのできる子どもに育てる
- ◆保育目標・○心身ともに豊かな子ども ○気持ちを言葉で表す子ども  
○みんなと仲良く遊べる子ども
- ◆特色ある教育と保育・
  - 担当制で一人一人の子どもを大切に丁寧な保育
  - 肯定的な言葉かけと生活のリズムを大切に
  - 遊びの環境、わらべうた、食育を大切に ○布おもむつを用いる
- ◆公益的な保育の取り組み・公開保育、乳児保育学習会の開催  
愛媛大学教育学部生の保育観察
- ◆職員の資質向上の取り組み・
  - 園外研修・国県市・日保協・全保協・コダーイ芸術教育研究所などの研修会に参加
  - 園内研修・クラスリーダー会・クラス勉強会・えひめ乳児研究会・えひめ乳児勉強会

## 〔丁寧で温かく子ども主体の保育〕

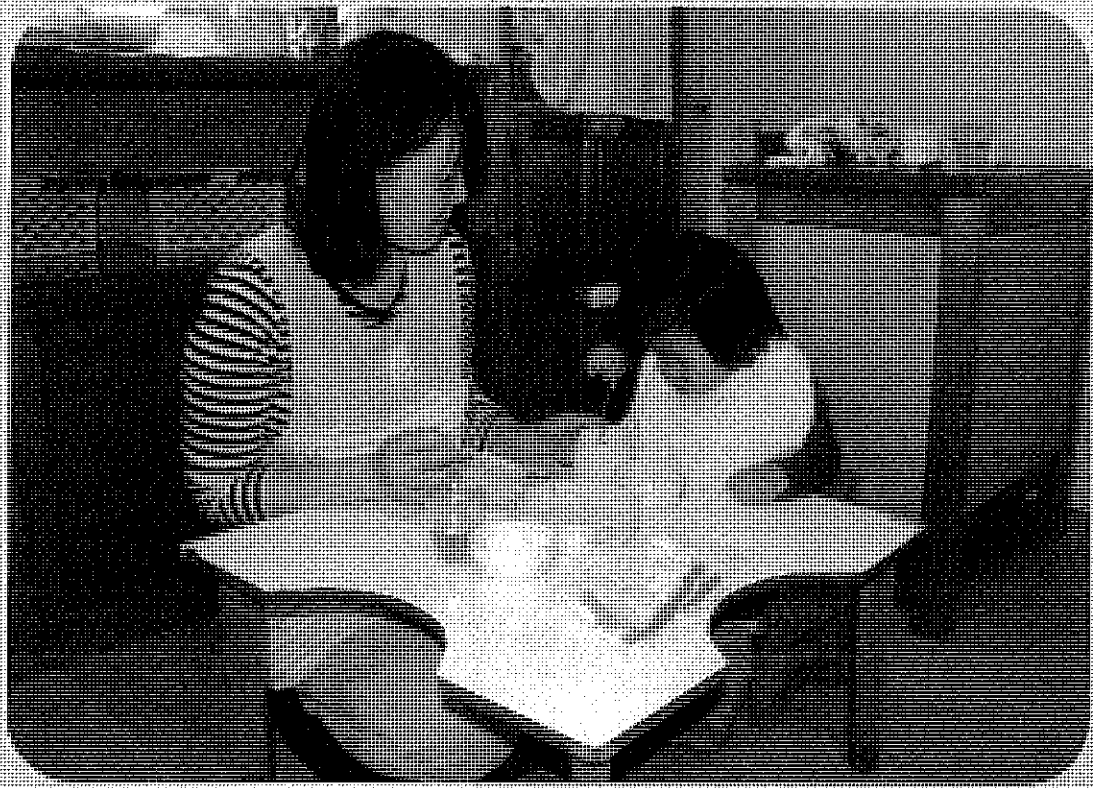
### ①担当制で、生活のリズムを重んじた肯定的で丁寧な関わり・・

- 一人一人の子どもに担当保育士の存在。（特定の保育士等・愛着形成・自己肯定感）
- その子の育児は、担当が全て責任をもつ。（安心感と人への基本的信頼感）
- 肯定的に丁寧に関わる。急かせることなく、応答的で受容的な関わり。  
（一人一人の人格の尊重・自己肯定感・主体としての自分育ち）
- 24時間を見据えた生活のリズムを保護者と協力して作り、見通しの持った生活。  
（発達過程に応じた生活のリズム・一人一人の日課を守る・生活のリズムの習慣化）
- 担当保育士と、その子の決まった時間・決まった場所で、発達を見据えて食事。  
（一人一人を大切にすゝ・安心感と信頼感・欲求への丁寧な対応）
- 排泄は、個人の場所。担当保育士と二人だけの時間を共有。肌の触れ合い・清潔の気持ち良さとともに、満足感と情緒の安定。（自発的な行動）

## 0歳児 食事



# 1歳児 食事



# 2歳児 食事





睡眠



手洗い

排泄



着脱



## ②子どもは遊びで発達する…

### 〔保育環境〕

- 人的環境・・保育士の人間性（保育士の人格が子ども的人格を作る）  
肯定的な内面と言葉かけ・穏やかで心地よい応答・受容と共感・振る舞い  
・声のトーン・豊かな感性と愛情・笑顔とユーモア・楽しむ保育
- 着床的環境・・温かな暮らしとくつろぎの場・安全で保健的で緑に囲まれた美しい環境  
・環境構成と工夫（音・光・色あい・家具・植栽）  
☆受け入れの場・・接遇の場であり保護者の送迎の場  
☆保育室・・食事・睡眠・遊びの場（一人一人の子どもの居場所が守られる空間づくり）  
家具の配置・保育士の動線・自発的、意欲的に遊べる環境  
子どもの成長に合った空間と道具・静と動の空間

### 〔遊びの環境〕・・（道具・時間・空間・動線）

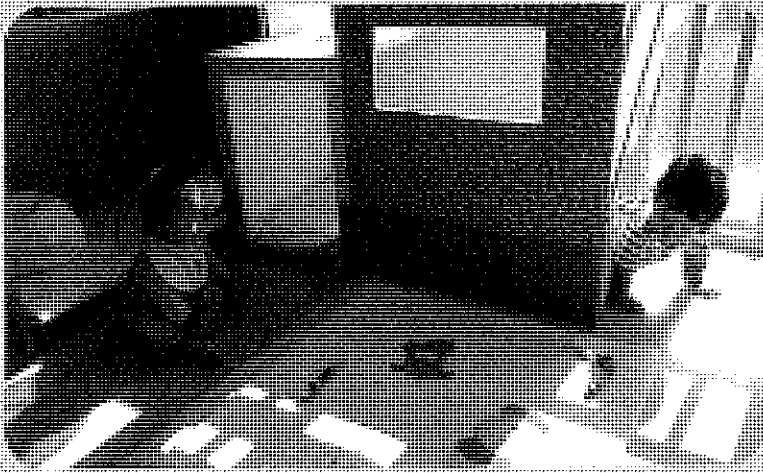
- 子どもの遊びは、自由で楽しいもの。自由に遊べる時間と空間が豊。  
（自発的、意欲的な場）
- 遊ぶことで発達する。（運動・知的・情緒・言語コミュニケーション・社会性）
- 遊びの道具を揃える。（道具の質・量・発達に向けた器具・基本の器具）
- クラスに秩序（環境との関わりを通して発達・おもちゃの置き場所・クラスのルール・動線）
- わらべうたで触れ合い、子ども安らぐ。（保育士も、穏やかな心）

## 0歳児 保育室の様子





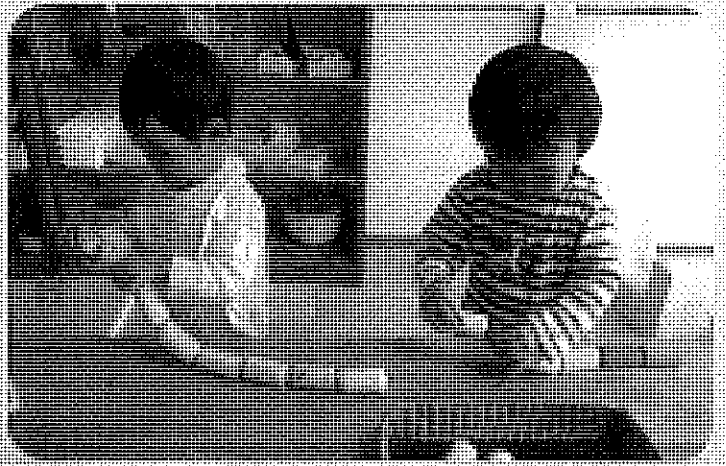
# 0歳児 遊び



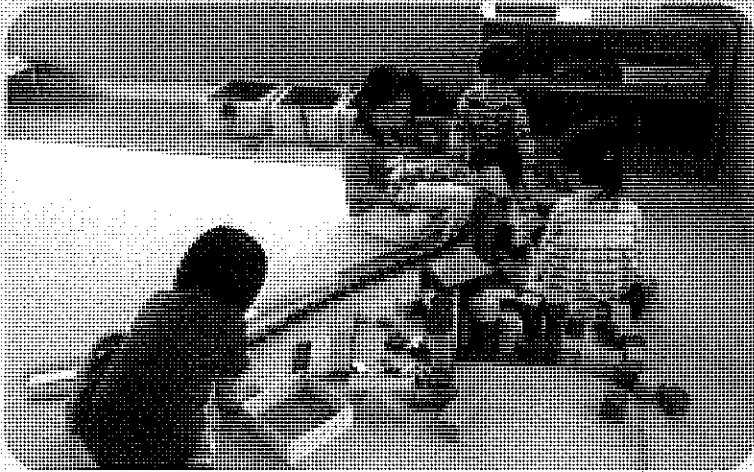
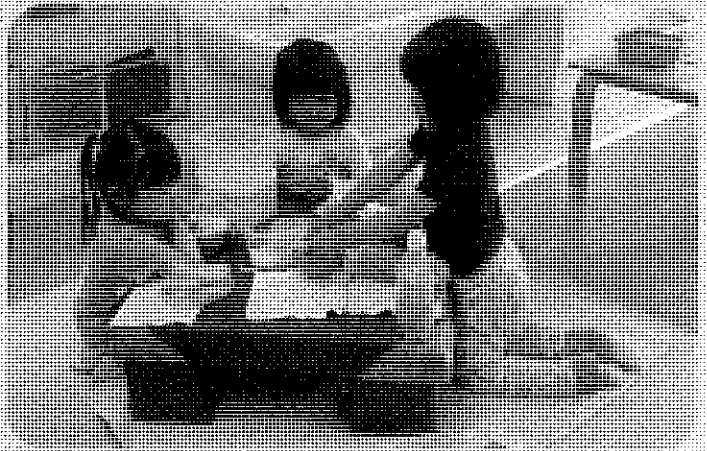
# 1歳児 保育室の様子



1歳児 遊び



2歳児 遊び



わらべうた







## 保育の見直しと その取り組み

京都府舞鶴市

社会福祉法人倉梯福祉会

さくら保育園 園長 森田達郎

## さくら保育園について

京都府北部 舞鶴市 人口8万人

日本海に面し、自然豊かな町

海上自衛隊・海上保安庁の拠点が有り、軍港・城下町として栄える。引き上げの港としても知られている  
近年は海軍倉庫を改修し、赤煉瓦の町として観光に来られる。



社会福祉法人倉梯福祉会さくら保育園  
は昭和28年開園 開園65年を迎える

0歳児～5歳児 110名定員

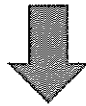
職員32名 ※パート含む

同一敷地内に学校法人立の幼稚園があり、160人を  
保育している ※共有の園庭



## 転換のきっかけ

- ①平成28年2月 園長が第三者評価の評価者として訪れた保育園に衝撃を受ける  
(子ども主体の保育の実践園)
- ②平成27年から舞鶴市の乳幼児教育ビジョンに参加していたが、子ども主体の保育についての認識もなく良さもあまり分かっていなかった  
しかし、他園の公開保育やドキュメンテーション研修に参加していく中で自園の「保育」や「あそび」について検討する



3

## 平成28年度から保育方針を転換

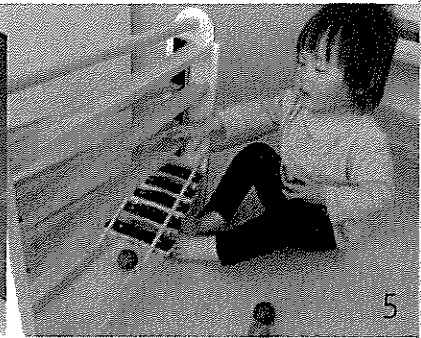
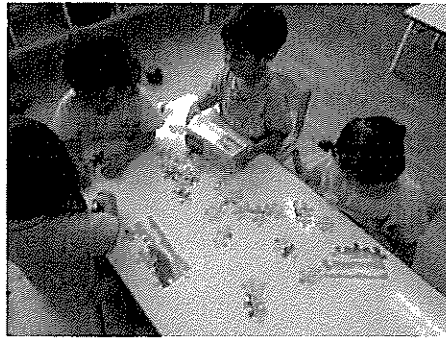
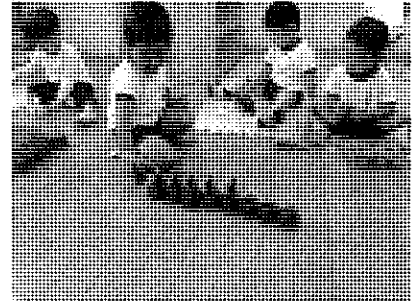
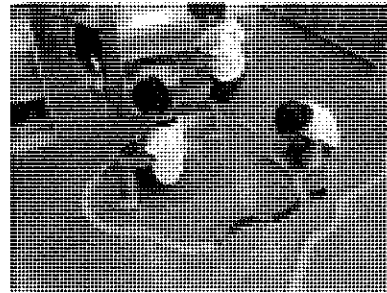
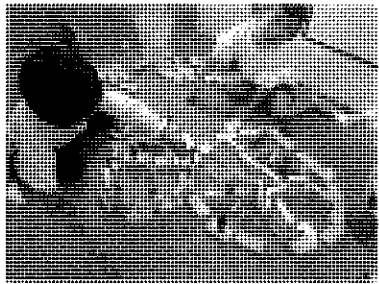
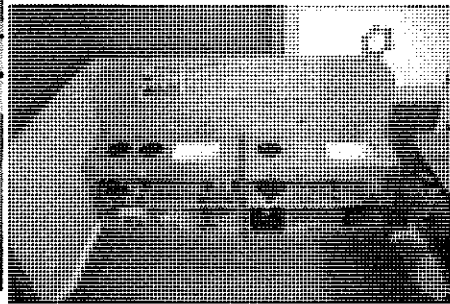
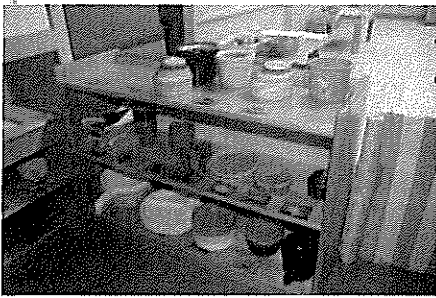
- 行事中心の一斉保育から、日々の保育の遊びを中心に子ども主体の保育に切り替える



平成28年3月から、年齢の発達に応じた保育環境になるよう、保育室、生活環境、子どもの動線、おもちゃの転換を進める。  
乳児は、いかに愛着を大切にして大人を信頼できるかという保育を目指す

4



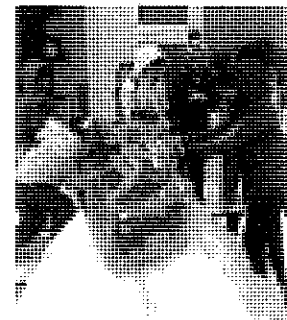


## 行事を含めた保育の見直し

### ○ あそびについて

行事の練習や、設定、製作の時間＝保育

上記の保育の間の休み時間＝あそび（自由あそび）



### 見直し

保育＝あそびの中での成長・発達

朝の集まりや体操によって、

あそびが途切れないように工夫した



## ○ 行事について

参観日 運動会 作品展 生活発表会 など

### 見直し

#### 運動会

夏や秋の遊びに没頭できるために

例年9月だったものを7月に変更

練習を遊びの一つにして、楽しめるように工夫。

自分たちで作った衣装や考えて振り付けした踊りを踊ります。



子どもたちが決めて作った妖怪

#### 発表会

先生が作った衣装・決められた台詞から、

自分たちで台本・役割・配役を決めて行う。

自分の衣装は自分で作る



演者とBGMに担当が分かれた

7

## 全てがスムーズに転換できたわけではない

- 今まで保育していた保育士にとって、  
保育の見直し=今までの保育を否定されているように感じてしまう。

主体的な保育=自由保育=放任保育=じっとできない一年生になる  
という不安。

設定保育・一斉保育は間違った保育なのか？と問われる。

やり方は違えど、子どもたちのために今まで保育をしていたことには  
違いはない。だから否定も肯定もできない。

それならば、今の時代の子どもにとって最良の保育とは何かを考えて  
いくようにした。

- 保護者の望みは「保育園でしっかりしつけをして欲しい」といったものが  
多く、保育の見直しを始めたときには否定的な意見もあった。
- そのため副園長・保育士と相談しながら、今後の保育について考え続けて  
きました。

『誰のための保育園なのか？』

8

## 保育を転換するために副園長・保育士と相談したこと

- キレイで何も無い保育室（おもちゃは押し入れに）をいかに子どもたちが選んで遊べるような環境にできるか話し合った。
- 012歳児を保育担当制にしたいが、受入人数が多く、食事は2～3回に分けた方がいい。しかし、園長・副園長の思いと、現場職員からは人数がもっと必要であると言われ、理想と現実との間に差異があり悩む。
- 子どもたちのためには行事を減らす・内容を簡素化すべきである。しかし、保育士たちからは、大小問わず全ての行事に対し、今までの保育イメージを持った保護者に説明をしてほしいという声上がる。
- 園長・副園長が参観日や行事のあるごとに保護者に子ども主体の保育についての説明をして回った。当たり前ではあるかもしれないが、すべては管理者側の責任ということが重くのしかかった。
- 園長・副園長は保育士に話す前に本を読んだり、講師の話を聞いたりして話をまとめてから、保育士たちに話したり、時には保育士の意見を中心として、意見をまとめた。否定をせずに、保育を変えていくことの難しさがあった。

9

- そうした中、舞鶴市では「乳幼児教育ビジョン」として、公私立・保育園・幼稚園の垣根無く、舞鶴に住む全ての子どものために乳幼児関係団体が合同の研修を実施していたため、職員一同で参加することになりました。

10

# 園内での取り組み

- クラス報告・各行事の取り組み方について  
 クラス内で話し合い、乳児の午睡時間を利用して  
 各クラスの代表が集まりリーダー会議  
 各クラス担任が作ったドキュメンテーションをお互いに  
 確認する
- 各クラスの子どもの成長・発達について職員会で発表する  
 週日案にエピソード記述を入れる
- 今まで保育士主導の見せる作品展・運動会・発表会から  
 子どもたちが考え作っていく行事に変わった

週 案 日 誌

曜日	5月	6月	7月
月	5月1日	5月2日	5月3日
火	5月4日	5月5日	5月6日
水	5月7日	5月8日	5月9日
木	5月10日	5月11日	5月12日
金	5月13日	5月14日	5月15日
土	5月16日	5月17日	5月18日
日	5月19日	5月20日	5月21日
月	5月22日	5月23日	5月24日
火	5月25日	5月26日	5月27日
水	5月28日	5月29日	5月30日
木	5月31日	6月1日	6月2日
金	6月3日	6月4日	6月5日
土	6月6日	6月7日	6月8日
日	6月9日	6月10日	6月11日
月	6月12日	6月13日	6月14日
火	6月15日	6月16日	6月17日
水	6月18日	6月19日	6月20日
木	6月21日	6月22日	6月23日
金	6月24日	6月25日	6月26日
土	6月27日	6月28日	6月29日
日	6月30日	7月1日	7月2日

園内での取り組みに関する詳細な記録とエピソード記述が記載されています。

## 年中4歳児男児 5月のエピソード

エピソード 昨日から [ ] くんが「遠足で見つけた赤い虫と同じやつが [ ] の家の近所にもあった」と言ってきた。調べてみると、ソメイヨシノのワラフの葉っぱの裏に付く。夏に鹿木のペットボトルにありがたいたまごを水を入れて育てて、大事に「これ、家に持って帰って見せる」とあつと持ち寄っていた。家にも自然も見つけて遊んでいる姿が、園での遊びがよりよくなっていく感じが伝わっていると感じた。

- 子どもたちの興味関心に耳を傾けるようになってきた。
- 自然への興味が家庭へと波及し、保護者も一緒に保育園での取り組みに共感している様子が見える。
- 何気ないエピソードを聞き逃さず、記入していくことで振り返りや園内研修にも使うようになった。

13

- Q、保育や行事を見直したことで何が変わったか？

乳児は保育担当制にし、愛着形成を基盤とした個別対応に変わった。食事も一斉に食べず、時間差の食事

幼児は 子ども：表情、動き、言葉などが子ども発信に変わった

作ってみたい意欲（宇宙・お店屋さん・楽器など）がある

保育者：子どもの姿をよく見る

子どもの言葉に耳を傾ける

保育者同士で話し合うようになった

保護者：「今日、このお菓子箱持って行って電話作ってくる」

「〇〇ちゃんと先生ごっこしとった」など次の日したいことを考えて夜過ごしている。

・なんでも自分から考えて行動するようになった。

※保護者アンケートより

14



# アンケート(保育を変えた初年度)

10月からの保育について 年少時30日半(11月)

1. 保育園での様子や出来事について、お子様がお話しされている事があれば教えてください。  
 平日保育園での過ごし方、容赦なくしている事が多いかについて  
 今の様子が、お話を先に承知して、遊遊活動の事  
 歩行歩一歩一歩話してくれ、(時には9名ハロウィン活動)など  
 2. 子どもさんについて、成長が感じられた場面があれば教えてください。  
 今年は、今年お出掛けの事、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
 特別に、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
 頑張った、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
 3. 各年齢に沿っておもちゃを置いたり、子どもたちが自ら遊び込める環境の保育  
 に変わったことで、お子さんの様子で以前と変わったことがあれば教えてください。  
 エコ、工作、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
 ハート、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
 保育園でのお話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
 10月、自ら遊んで遊ぶ、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、

4月からの保育について

保育園での様子や出来事について、お子様がお話しされている事があれば教えてください。  
 お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
 お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
 2. 子どもさんについて、成長が感じられた場面があれば教えてください。  
 今年、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
 作った、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
 3. 各年齢に沿っておもちゃを置いたり、子どもたちが自ら遊び込める環境の保育  
 に変わったことで、お子さんの様子で以前と変わったことがあれば教えてください。  
 お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
 お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、

自ら遊んで遊ぶ」というのは、大事なことは「あ」と感じました  
上と同じですが、「受け身の遊び」から、「自分で探る、作る、動く遊び」に  
変わってきています。

## 最初は好意的な意見ばかりではありませんでした しかし、徐々に好意的な意見が増えてきました

3. 各年齢に沿っておもちゃを置いたり、子どもたちが自ら遊び込める環境の保育  
 に変わったことで、お子さんの様子で以前と変わったことがあれば教えてください。

年少時  
 11月  
 保育について

初めはわからない。  
去年までの方針に興味があり、園希望した部分もあり、少し残念。

年中時  
 3月  
 発表会后

3月 成長している子供たちですが、発表会を見て、その成長を  
 改めて感じる、とかありました。  
 去年とさなから、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
 友達と協力して作品を作ったり  
家庭では体験できない事を保育園で体験させているので、今年の成長がとくと楽しみにです。

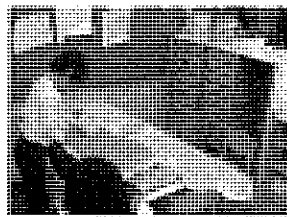
年長時  
 5月  
 参観日後

初めて、ワクワク、参観があり、楽しかったです。  
 作る物が、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、お話しが、  
もう少し時間が長くて大丈夫だと感じました。(10時前後)  
保育園での日常が見れて良かったです。

## 事例

○きっかけは3歳児が、ままごとコーナーで鍋やフライパンを叩いて音を出し、まわりに迷惑をかけていた。しかし、担任は注意するのではなく楽器に興味があるのかと考え、子どもたちに楽器作りを提案

○すると楽器作りに没頭

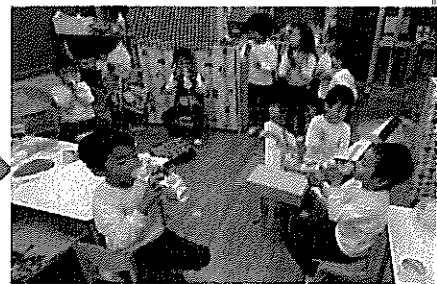


○誕生日会で披露

○年長児とセッション



○クラスで発表  
○年長児にも発展



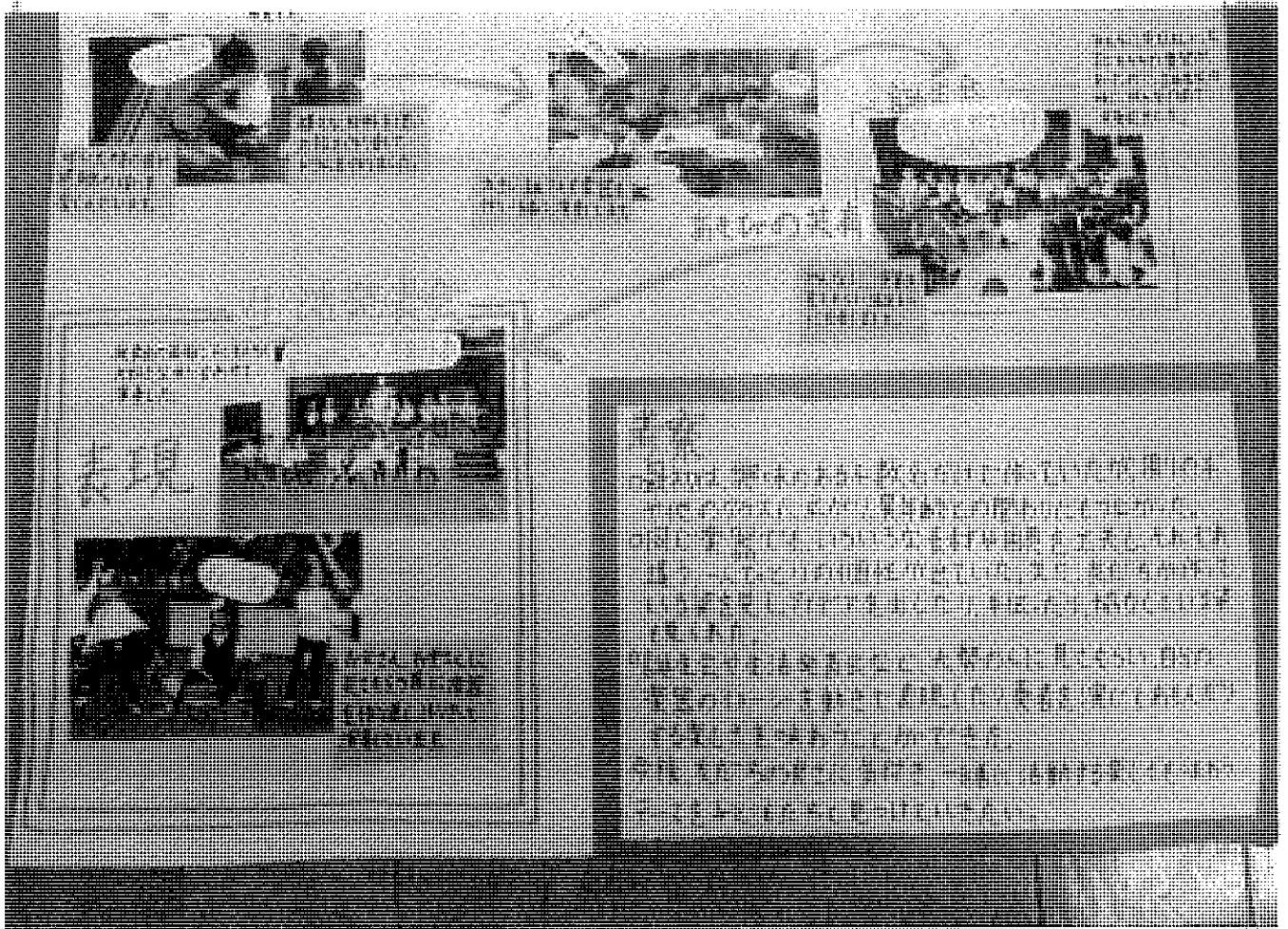
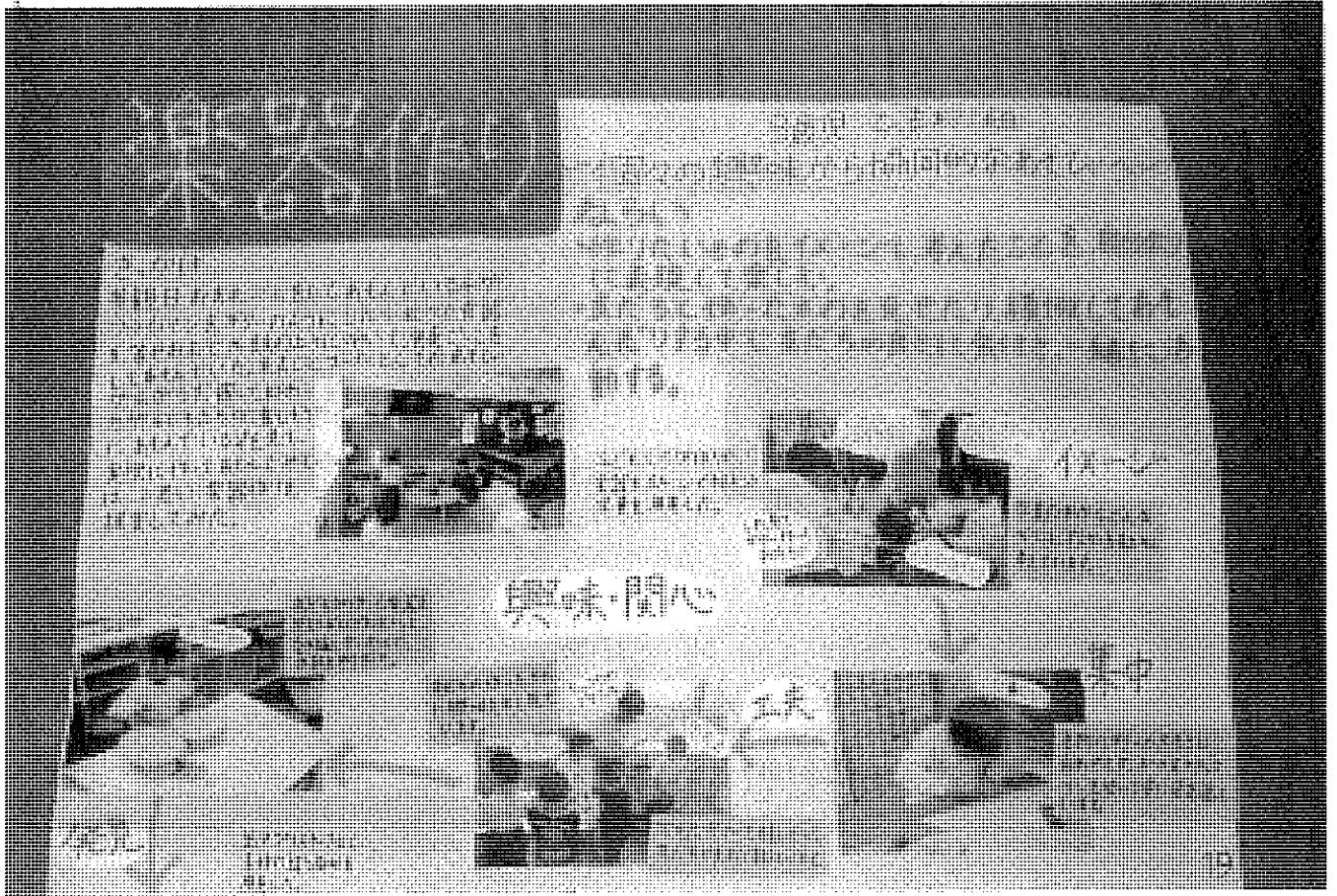
17



## 生活発表会で披露

18

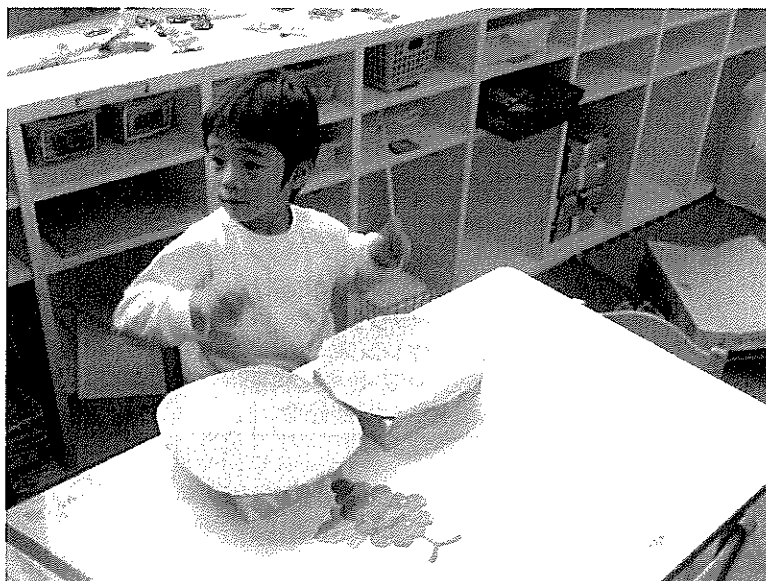
# この事例をドキュメンテーションにしてみました





そして・・・

- ドラムの子は気持ちを落ち着かせるときに叩いて、落ち着くと次の遊びに移動するようになりました。そしてドラムも、どんどん進化していきました。



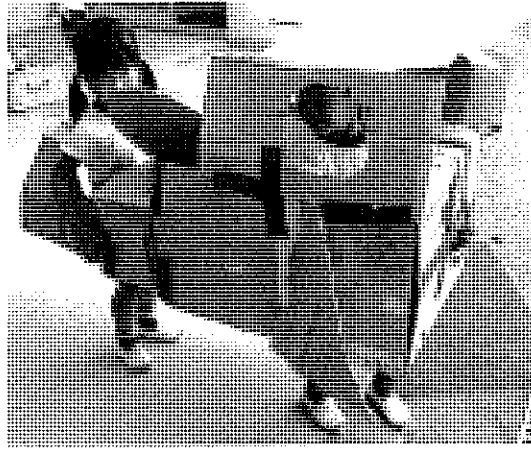


まだまだ保育において未完成な部分がたくさんあると思いますが、この保育に改革するにあたり、副園長と主任を含む保育士たちと協力し進めてきました。

この支えがあったからこそ決断ができたと思っています。

そして、日夜園内研修を重ねてきました。

みんなの日々の努力に感謝し、子どもたちの笑顔に喜びを感じ、これからも進んでいきたいと思っています。



ご静聴ありがとうございました

参考資料① 文部科学省調査研究委託「幼児教育の推進体制構築事業」

舞鶴市 平成29年度 乳幼児教育ビジョン推進事業

事業全体

- 乳幼児教育ビジョン推進事業 全体会・報告会
- 乳幼児教育フォーラム
- ・近隣市町村、委託研究自治体へ広報

乳幼児教育ビジョンの周知

- 講演会、説明会等の開催
- ビジョン通信の発行
- ・家庭向けにビジョンの内容をわかりやすく発信

乳幼児教育の質の向上研修 対象: 保育所・幼稚園、小学校

全体講師: 北野幸子准教授[神戸大学大学院]

子どもを主体とした保育

- 講師: 北野幸子准教授 (神戸大学大学院)
- ◇公開・カンファレンス
  - ◇講義(ドキュメンテーション 保育リーダーの役割 他)
  - ◇グループワーク(ドキュメンテーション 公開保育の記録をもとに 他)

保幼小連携

- 講師: 木下光二教授 (鳴門教育大学大学院)
- ◇講義、グループワーク
  - ◇公開・カンファレンス
  - ◇小学校教育研究会生活科部 夏季研究会合同研修会 他

乳幼児教育センター・コーディネーター機能研究

- 行政による乳幼児教育の拠点機能研究
- 乳幼児教育の実践と専門家による研究等 各分野をつなぐコーディネーターの育成研究

保幼小接続カリキュラム 策定研究

- 講師: 溝邊和成教授 (兵庫教育大学大学院)
- カリキュラム策定会議
  - ・保育所、幼稚園、小学校、中学校の保育者・教員代表
  - ・0-15歳を切れ目なくつなぐ 保幼小中連携カリキュラム 「まいづる015」(仮)の検討
  - ・事例の収集・研究
  - 保幼小中連携研修
  - ・全園・全校対象

乳幼児教育の推進体制構築事業検討会議

文部科学省の調査研究委託事業の実施について、研究推進体制の検討、研究結果の分析やとりまとめ、普及等の意見を聴くため設置しているもの



乳幼児教育の質向上研修  
子どもを主体とした保育（概要）

(1) 公開保育、グループワーク、カンファレンス

- ◎園の公開保育と事後のグループワークにおいて実践者と参観者が保育を語り、カンファレンスを通じて学び合う。
- ◎公開保育のテーマや視点にもとづいて、参観者が子どもの姿を記録し、グループワークで活用する。

(2) ドキュメンテーション研修、グループワーク

- ◎各園で書いているドキュメンテーションを元にワークシートを活用して、保育や遊びの中の気づき、学び、保育者の関わりなどをグループで語り合う。
- ◎対象を初めてドキュメンテーションを書くフレッシュや保育のリーダーとなる保育者に分けて実施する。

(1) 公開保育

【目的】

- ◎乳幼児教育ビジョンの基本理念「主体性を育む乳幼児教育」の推進に向け、研修等を通じて、園・校種、公私を越えて共に学び合う。
- ◎公開保育を通じて、実践者も参加者も互いに保育を振り返り、学び合う機会とし、質の高い乳幼児教育を目指す。

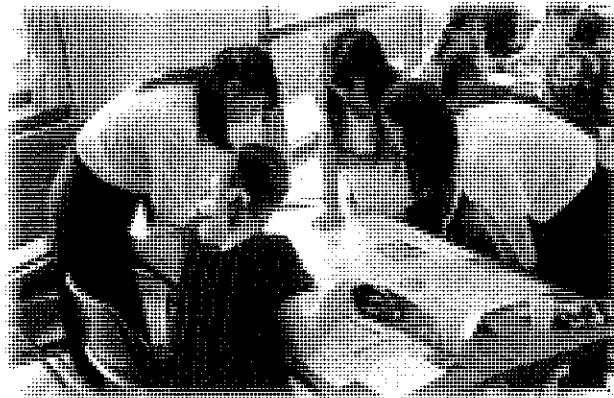


## (2) ドキュメンテーション研修

### 【目的】

各園で書いているドキュメンテーションをもとに保育を振り返り、保育について検討することで・・・

- ◎子どもの姿、言葉(事実)から、育ちと学びを見取る。
- ◎保育者のねらい、関わり、環境を考える。
- ◎保育には様々な見方や方法があることを知る。
- ◎年齢発達をとらえる。



## (3) 経過報告

研修	日時	内容
ドキュメンテーション研修 (フレッシュ園児)	平成29年6月29日(金)	グループワーク：事例をもとにドキュメンテーションを書いてみよう 指導：ドキュメンテーションを見て話す
ドキュメンテーション研修 (保育リーダー向け)	平成29年7月24日(月)	グループワーク：ワークシートをもとに事例を検討する 講義：「ドキュメンテーションの中の保育を幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿でとらえる」
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">公開保育 (八雲保育園)</div> ← 民間保育園	日(火)	公開保育・グループワーク・カンファレンス
ドキュメンテーション研修 (各園から持ち寄る)	平成29年10月11日(水)	グループワーク：ワークシートをもとにドキュメンテーションを検討する 指導：事例のドキュメンテーションへ助言
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">公開保育 (永福保育園)</div> ← 民間保育園	日(木)	公開保育・グループワーク・カンファレンス
ドキュメンテーション研修 (各園から持ち寄る)	平成29年11月8日(水)	グループワーク：ワークシートをもとにドキュメンテーションを検討する 指導：事例のドキュメンテーションへ助言
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">公開保育 (中舞鶴幼稚園)</div> ← 民間幼稚園	木	公開保育・グループワーク・カンファレンス
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">公開保育 (うみべのもり保育所)</div> ← 公立保育所	)	公開保育・グループワーク・カンファレンス

## 京都保育の魅力発信キャンペーン

- 平成29年度から京都府・京都市・京都府保育協会・京都市保育園連盟では、4者共同で「京都保育の魅力発信キャンペーン実行委員会」を立ち上げ、様々な魅力発信事業を実施しています。

- ①キャンペーン特設サイトの立ち上げ
- ②WEB広告にて就職フェアやHP「ほいなび」の紹介
- ③保育の魅力を考える大交流会  
現役保育士と養成校の学生を対象に、講演会・交流会を企画し実行する
- ④SNSプロモーション



# ベネッセ 日吉保育園 保育の質向上の取組み

平成30年7月4日

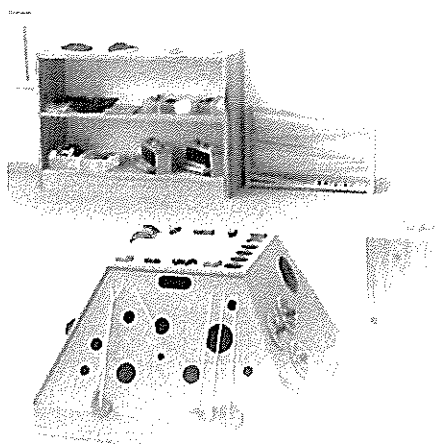
株式会社ベネッセスタイルケア



## 株式会社ベネッセスタイルケアの保育事業

1994年に保育事業を開始、現在、首都圏を中心に53の保育施設を運営。事業開始から24年目を迎えます。

2001年に日本で初めて株式会社として認可保育園の運営を受託して以来、認可保育園を中心に事業を展開してまいりました。



	公設民営 認可保育園	民設民営 認可保育園	認可外 保育施設	合計
東京都	7	22	2	31
神奈川県	1	15	2	18
千葉県	1			1
埼玉県	2			2
兵庫県		1		1
合計	11	38	4	53

※認可外保育施設

東京都認証保育所 1 / 企業主導型保育所 1  
事業所内保育室 1 / 認可外一時保育室 1

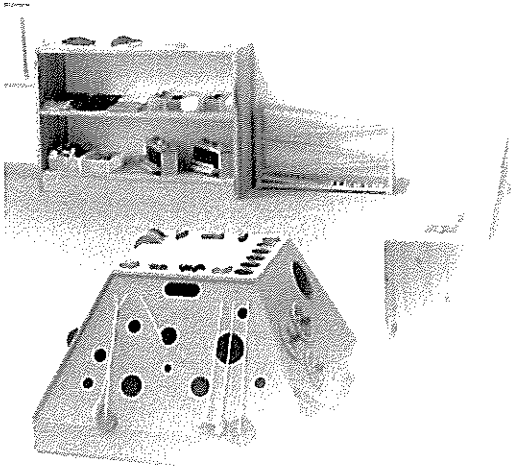
## 保育理念

### よりよく生きる力の基礎を育てる

いきいきと健やかに毎日を過ごし、  
自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます。

### 保育目標

- (1) 自分で考えすすんで行動する子ども
- (2) 友だちと楽しく遊ぶ子ども
- (3) 感性豊かな子ども



保育の思いをブランドメッセージとして外部へ発信

## その子らしく、伸びていく。

こどもは、自ら伸びていく芽をもっています。

私たちは、その子の芽の、光と水と土でありたい。

人にであい、人とふれあい、

遊び、心がうごく、その瞬間にこそ、

学びに向かう意欲が育ちます。

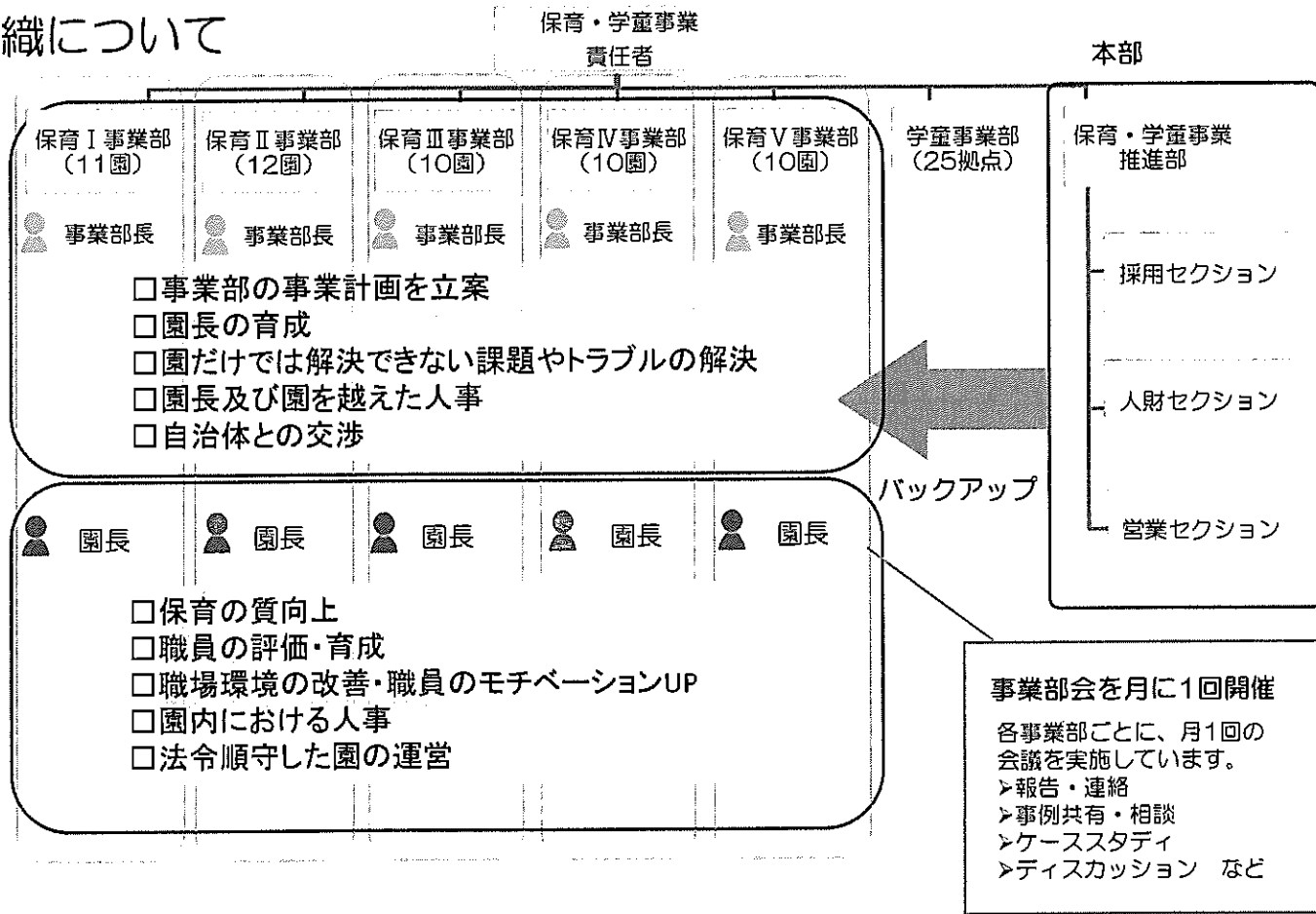
その子の、心の声に耳をかたむけ、かかわることを大切に、

一人ひとりのこどもたちと、私たちは今日も向きあっていきます。





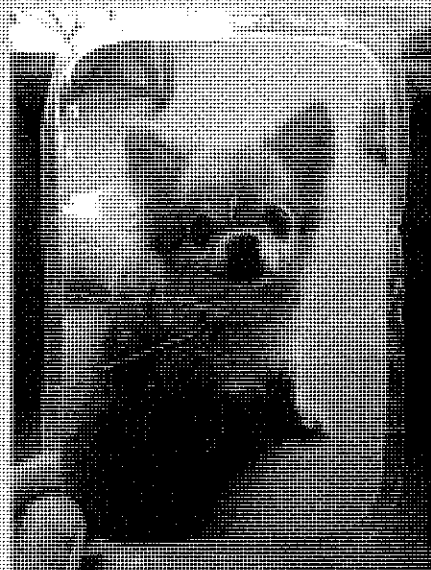
組織について



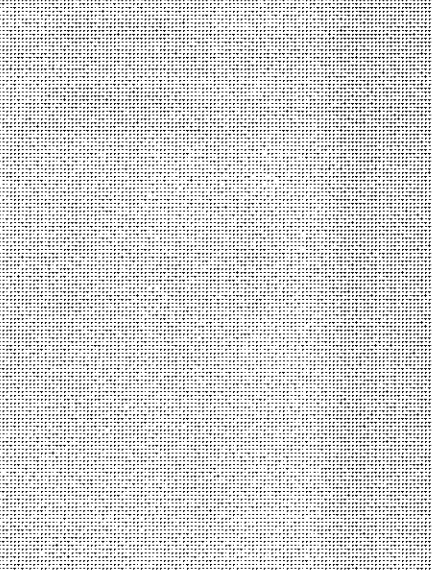
園での取組み

「その子らしく、伸びていく」  
 一人ひとり違っていいんだよ  
 一人ひとりの思いに寄り添う保育

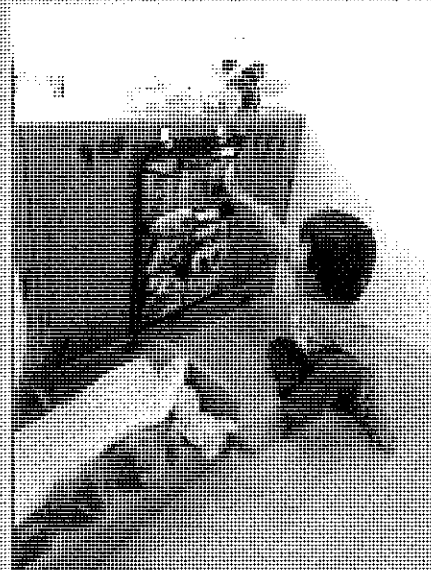
●犬コーナーのエピソード



担任の飼っている犬のラミネート加工された写真



職員連の飼っている犬の写真をラミネート加工する



犬への関心が高まり、遊びにも変化

## 園長として大切にしていること

### ①保育者の学び

#### 園内研修

- ・ 保育の専門者としての自覚
- ・ 園全体の方向性の共有

#### 外部研修

- ・ 保育の専門家の知識を吸収

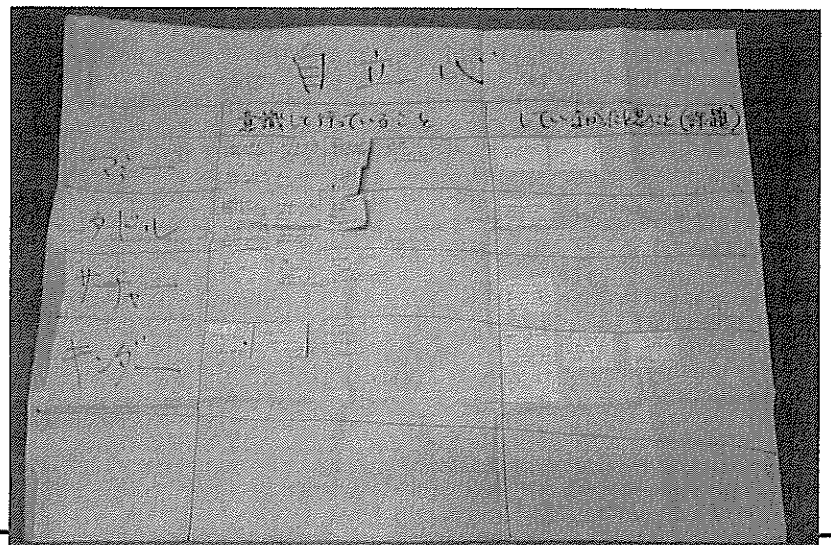
### ②外部へ向けて開かれた園・地域との連携

## 平成29年度の取組み

### ①保育者の学び

#### 《園内研修》

指針の改訂に伴い、「幼児期の終わりまでに育てて欲しい10の姿」を取り上げ、自分たちの日々の保育と結びつけて考え話し合った。



# 《外部研修》

## ■横浜市主催のリーダー研修会に参加

⇒「保育ウェブ」「ドキュメンテーション」を学ぶ

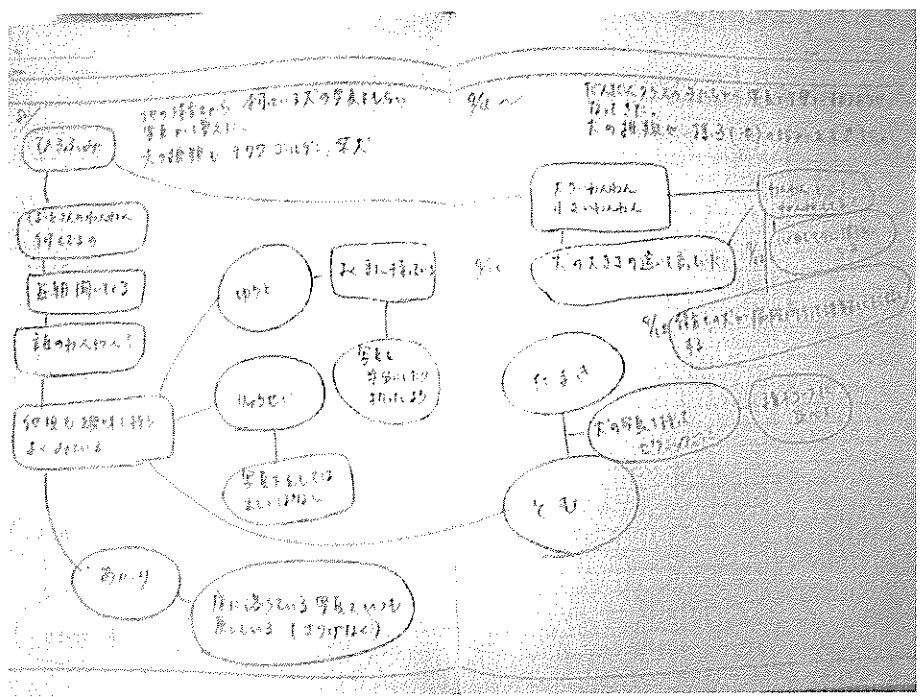
## ■横浜市の公開保育園として巡回指導を受ける

⇒「愛おしさが伝播する保育」の展開を後押し

⇒「園庭環境の見直し」

# 保育ウェブ

常勤職員だけではなく、新卒者や非常勤職員も「こどものつぶやき」を記入し、保育者の思いや予測も書込み、応答的な遊びの広がりにつながった

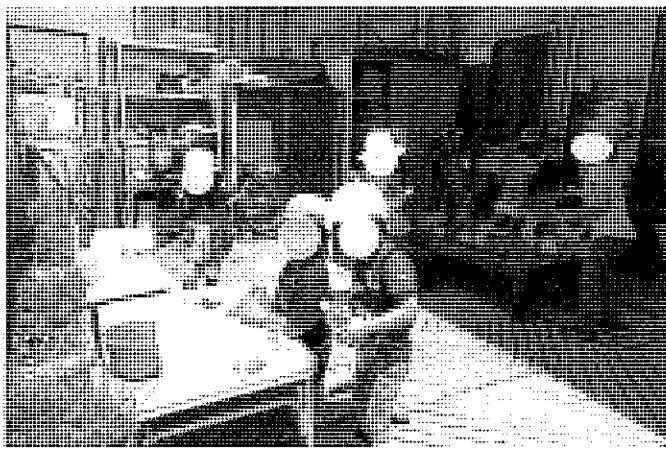


## ドキュメンテーション

輝いているこどもの姿を保護者に向けて掲示した。保護者を巻き込む保育の展開につながる



## 園庭環境の見直し



バックヤードだったテラスの一部をこどもが自由に使える遊びのスペースに変えた

雨どいなどこどもの遊びが広がる素材を用意した。





## ②外部へ向けて開かれた園・地域との連携

- 区の地域イベントに積極的に参加、会場としての提供役割も担う
- 公開保育を機に、地域の保育園からの園見学希望を受入れる

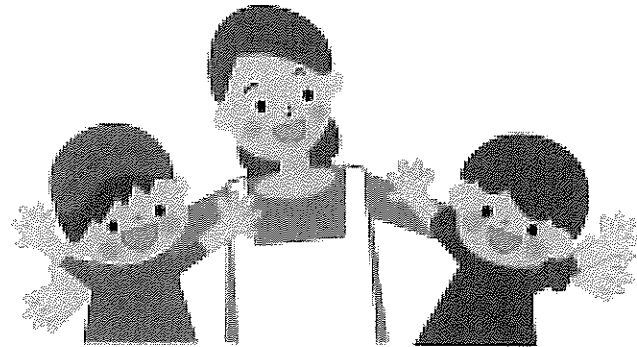
改定指針で明確に示された非認知能力の大切さをこれからも自信をもって推進していきたい。

---

ご清聴ありがとうございました。

---

# 保育の質の向上



～子ども達の未来のために～

北区立西ヶ原保育園 久保正子

1

## 西ヶ原保育園 概要

- ・ 東京都北区立（公立） \* 北区の公立園は全38園（分園4園を含む）
- ・ 昭和40年11月1日開設（定員100名）
- ・ 当初は児童館と保育園の併設施設

⇒ 待機児童解消のため、児童館部分を保育室に改修し、平成22年4月より0歳児保育を開始

<現在の定員（計114名）>

歳児	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	6	17(21)	19(21)	22	25	25

\* 1・2歳児の待機児童解消のため、弾力運用により、現在120名在籍可能

<職員構成（現在 計25名）>

園長（1名）・主任保育士（1名）・保育士（18名）

保健師または看護師（1名）調理師・用務（委託）・非常勤栄養士（1名）

非常勤保育士（3名）・パート職員（保育補助）・嘱託医（1名）

2

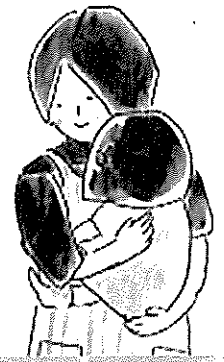
## 子どもを育てるのは環境

環境を整えれば子どもは自ら育つ力を持つ

子どもが育つうえでもっとも大切な環境は

ひと

そのため、人材育成研修に  
力を入れています



3

## 職員研修の全体像

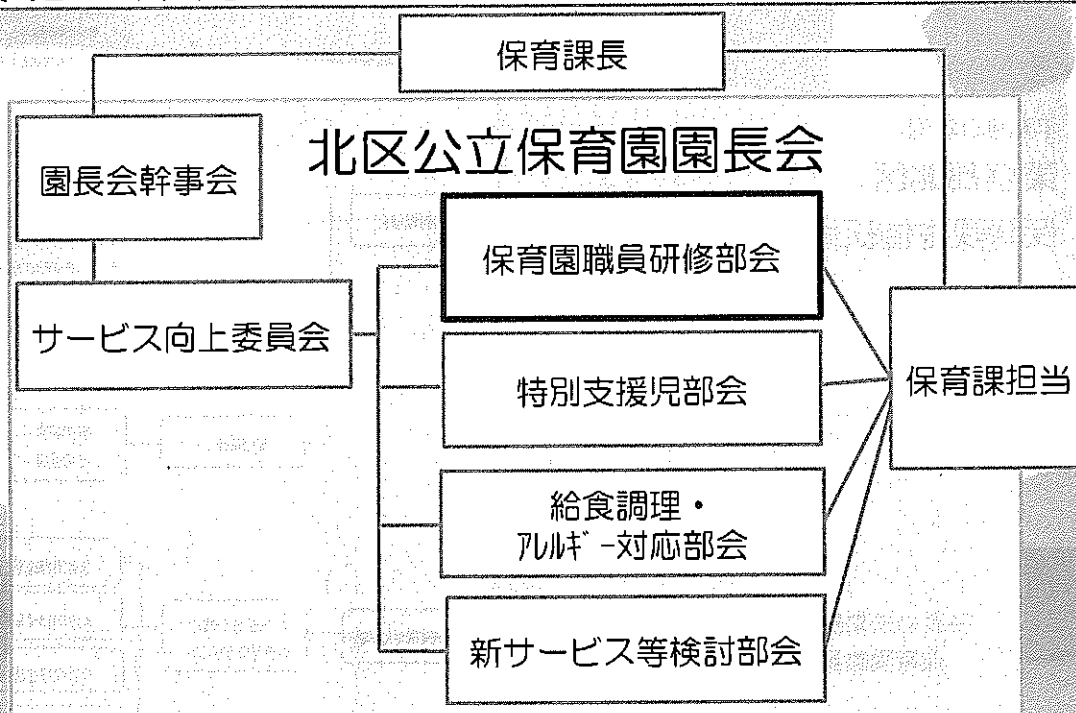
- 職員の資質向上に向け、区が行う研修に加え、関係機関等の様々な研修を効果的に活用し、経験年数に見合った研修への参加を推進し、職場内での研修成果等の共有を図る。
- 1 特別区研修(新任研修や管理職研修など職層別研修 等)
- 2 北区人材育成研修
- 3 北区公立保育園園長会 サービス向上委員会  
保育園職員研修部会主催研修  
(講演会・歳児別学習会・園内研究・公開保育)
- 4 北区教育政策課主催研修(きらきら0年生応援プロジェクト)  
(3・4・5歳児担任研修・コーディネーター派遣)
- 5 教育研究会研修 \* 幼稚園・小学校との連携研修
- 6 東京都公立保育園研究会研修 \* 勤務時間外の任意の研修

4



# 組織図

(北区保育課と公立保育園園長会の関係)



7

## 北区 新規職員募集人数 (福祉)

平成28年度 80名程度

平成29年度 40名程度

平成30年度 45名程度

多くの新規採用者に対し、より一層新人職員の育成に取り組む。

8



# 新人育成プログラム（園長会）

新人保育士育成プログラム

期間	新人保育士	指導担当保育士
Ⅰ期 (4～5月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な保育を身につけ実践する</li> <li>挨拶(子ども、保護者、職員)・身だしなみ・言葉使い</li> <li>各園の就業システムを知る</li> <li>クラスの子どもの名前や状況を知る</li> <li>園の就業を知る(住所、電話番号、開所時間、定員、自園の保育事業等)</li> <li>施設を知る(保育園、直営、委託等)</li> <li>就業業務システムを扱う</li> <li>報告・連絡・相談(ほうれんそう)を知り、実践する</li> <li>安全、衛生に関すること(園庭・給食・排泄物処理、アレルギー対応等、消火器やさすまた、手拭110番の位置、不審者の対応等)</li> <li>担当の仕事を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導担当保育士が教える</li> </ul>
Ⅱ期 (6～8月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事の進め方の手順を知る(出勤、行事、休日)</li> <li>職員間の連携を知る</li> <li>必要に応じて返戻を知る(公園、散歩先、園庭、開所時間等)</li> <li>日誌、連絡帳、児童票等の記録をする</li> </ul> <p>&lt;前期振り返り&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導担当保育士がアドバイスをし、一緒に進める</li> </ul>
Ⅲ期 (9～12月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事のサブや自分の役割分を担う</li> <li>指導計画を立ててみる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導担当保育士がアドバイスをする</li> </ul>
Ⅳ期 (1～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の振り返り</li> <li>担当ができるようになる</li> <li>日誌や連絡帳・児童票の記録ができるようになる</li> <li>児童票入力ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導担当保育士、主任、園長が相談相手になる</li> </ul>

※ プログラムはあくまでも「めやす」ですので各園で適用してください。  
 ※ 「必読書」としての研修は全体研修で行われるので、保育園現場での「保育士」としての育成内容としました。  
 ※ 「指導担当保育士」とは同じクラスの保育士、年齢(経験年数)が近い保育士、主任保育士など各園の状況により園長が決定します。  
 ※ 振り返りは「振り返りシート」を活用してください。前期、後期に利用してもよいと思えます。

振り返りシート(指導担当職員)

1	新人職員に現場してもらった際のどのような指導方法をとりましたか
2	どのような成果がありましたか
3	新人育成として今後のような事と想いますか
4	その他

振り返りシート(新人職員)

1	仕事で楽しかったこと、苦しかったこと、やりがいを感じたことなどどんなことですか
2	子どもの成長を感じたところ(場面・状況・出来事)はどこですか
3	どのようなことに楽しさや不安を感じましたか(保育のこと、人間関係等)
4	指導員についてどう感じようと思いましたか
5	今頃どのようなことを意識して自励していますか
6	その他 ご自由に書き込んでください

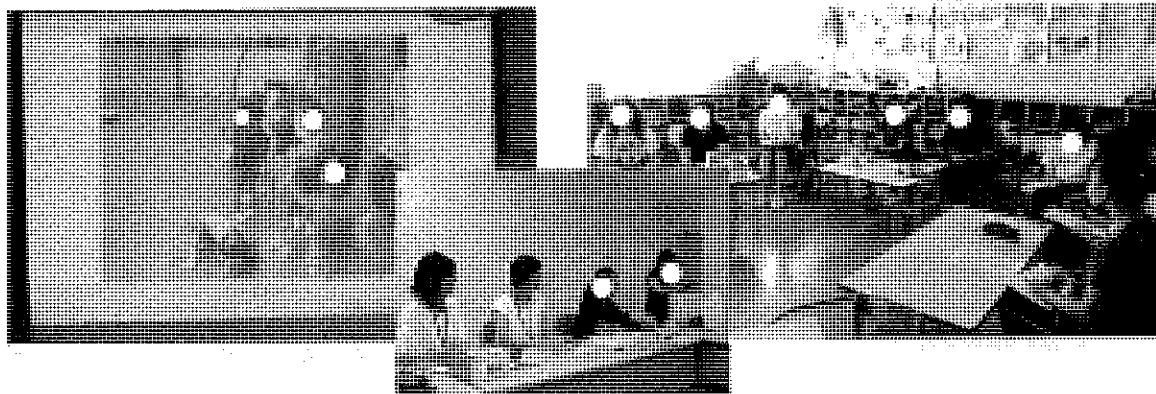
# 新人育成計画（各園での活用例）

新人保育士育成計画表

(目標) 子どもの成長を喜び保育の仕事にやりがいを感じる。

振り返り	Ⅰ期(4～5月) ・挨拶を知る。	Ⅱ期(6～8月) ・担任としての自覚が芽生え挨拶に取組む。	Ⅲ期(9～12月) ・担任として自覚を持つ、挨拶に取組む。	Ⅳ期(1～3月) ・担任として積極的に挨拶に取組む。
園内	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の施設の概要を知る。</li> <li>園の就業システムを知る。</li> <li>クラスの子どもの名前を知る。</li> <li>挨拶を交わす。(子ども、保護者・職員)</li> <li>就業業務システムを扱う。</li> <li>わからないことを聞く。職員に尋ねる。</li> <li>「ほうれんそう」を知り、実践する。</li> <li>リーダー・サブ・挨拶の仕事を知る。</li> <li>担当の仕事を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事の進め方の手順を知る。各園の役割の仕方、行事の取組み方、係の仕事、専任職の連携。</li> <li>日誌・連絡帳の記入をする。児童票の記録をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案。</li> <li>行事の担当、サブの担当。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返り、何がわからないのか、不安なこと、心配なこと。</li> <li>2月末までに解決。</li> <li>「ほうれんそう」が就業に身につく。</li> <li>リーダーとして保護者対応をしてみる。</li> </ul>
指導のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要事項のやりかたを教える。</li> <li>保育用語・教付・消火器・誘導棒・消火器・さすまた等。</li> <li>北区の保育事業の内容を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サブや挨拶担当に支えられながらリーダーを体験する。</li> <li>返戻を知る。</li> <li>託児場所、公園、散歩先、園庭、開所時間等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の作成の仕方。</li> <li>行事記録の修繕の仕方。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導担当保育士・主任・園長が相談相手になる。</li> </ul>
振り返り		<ul style="list-style-type: none"> <li>各園の就業システム。</li> <li>児童票の記録の仕方。</li> </ul> <p>(連絡帳については指導担当保育士が確認をしていく。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全指導担当保育士が一括に連絡する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導担当保育士がアドバイスする。</li> </ul>	
担当より				

# 公開保育・協議会を 組み合わせて行う園内研究



他園の職員が保育を参観し、良いところ、工夫が必要なところを見出し、午睡時の協議会で意見交換を行う。その際、外部講師からも助言を受ける。

(近隣の保育園同士が2園1組で年度ごとに交代して実施)

11

## 各保育園独自の園内研究

- 園内研修は、保育園独自のものを毎年行う園、公開保育を行わない年に実施する園など様々。
- その年のテーマ・ねらいを決めて、保育園ごとに職員全体で取り組む。
- 学んだことや変化の様子については、前述の園内研究と同様に環境シートに記録し、保存など園によって工夫している。

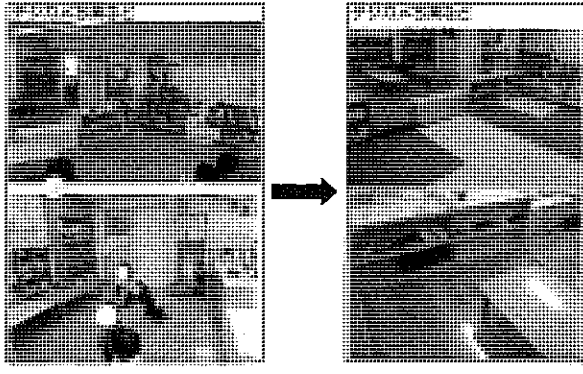
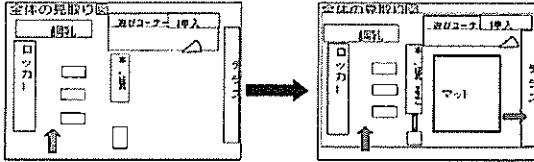
12

# 園内研究 保育環境シート1歳児

保育環境シート  
場所：1歳児保育室 室 コーナー

H28 年度

<b>現状（問題点）</b> ・コーナーが充実しておらず、じっくりと遊び続けることが難しい。（玩具の量も適量をどうするか、仕切りがないなどの課題）	<b>解決策</b> ・挿入枠の中の一部を遊びのコーナーにする。 ・壁をくぐって、身体を動かせるもの（動く車・タイヤや紙パックの150g台の設置） ・移動の仕切りドアを設定する。 ・壁ごとコーナーを設定する。	<b>その後の様子</b> ・仕切られていることで、じっくり遊べるようになる。 ・常設したことで好きな時に好きなように遊べるようになる。
5月 30日	7月13日	11月13日



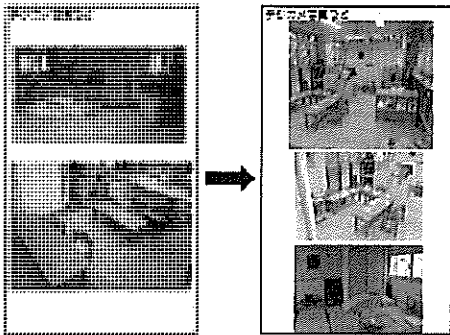
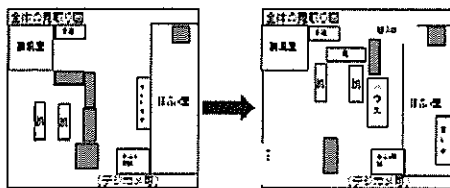
園内研究で学んだことを環境シートに記録すると共に、3か月後に変化した様子を配置図や写真を通して見ることで学びにつなげる。

これらの各園の研究は保育課共通フォルダに格納され、他園のものも共有できる仕組みとなっている。

保育環境シート  
場所：1歳児保育室 室 コーナー

H29 年度

<b>現状（問題点）</b> ・長時間遊べるスペースが狭く、興味を持った遊びのスペースが足りない。 ・アクリルボードで仕切り枠を囲い、遊具の取り出しに難儀している。	<b>解決策</b> ・くぐる型スペースを作り、壁に仕切り枠を取り付ける。 ・移動の仕切り枠を設置する。 ・移動の仕切り枠を取り付ける。	<b>その後の様子</b> ・出入口の設置により、取り出しやすくなる。 ・移動の仕切り枠を取り付けることで、長時間遊べるようになる。 ・移動の仕切り枠を取り付けることで、長時間遊べるようになる。
H29年6月	H29年11月15日	H29年11月

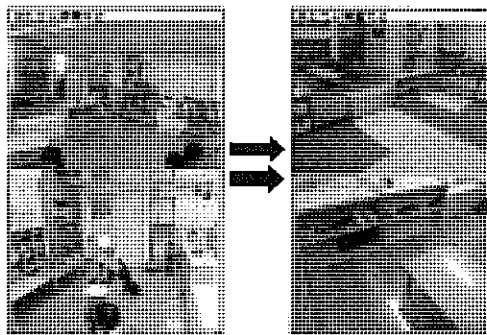
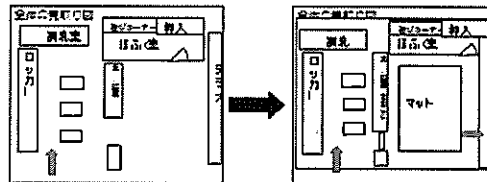


撮影（左図のとき）

保育環境シート  
場所：1歳児保育室 室 コーナー

H27 年度

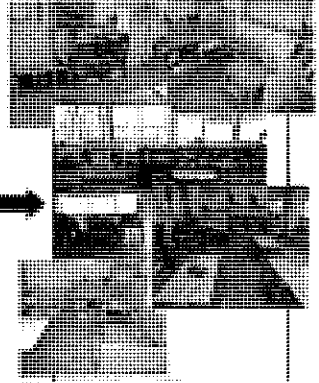
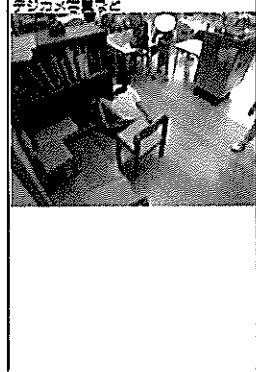
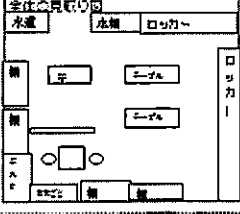
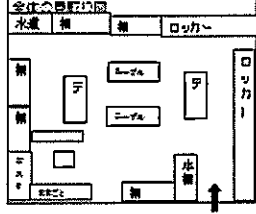
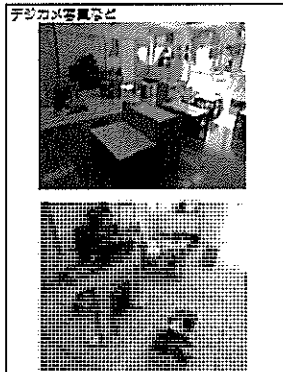
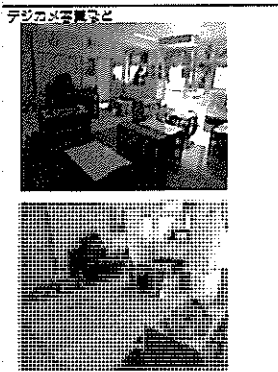
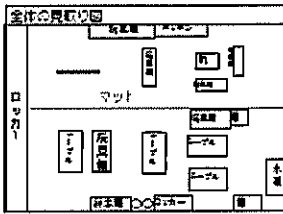
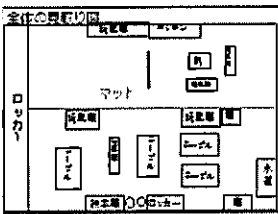
<b>現状（問題点）</b> ・コーナーが充実していません。じっくりと遊び続けることが難しい。（玩具の量も適量をどうするか、仕切りがないなどの課題）	<b>解決策</b> ・挿入枠の中の一部を遊びのコーナーにする。 ・壁をくぐって、身体を動かせるもの（動く車・タイヤや紙パックの150g台の設置） ・移動の仕切りドアを設定する。 ・壁ごとコーナーを設定する。	<b>その後の様子</b> ・仕切られていることで、じっくり遊べるようになる。 ・常設したことで好きな時に好きなように遊べるようになる。
2017年 5月 30日	2017年 5月13日	2017年11月13日



撮影（左図のとき）

<p>現状(問題点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びのコーナーを区切り、様々な遊びを確保するがそれぞれの遊び(ブロック・井戸・ブロック・汽車など)が混ざってしまっている</li> </ul>	<p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玩具棚や仕切りを移動し、マット部分にそれぞれの遊びのコーナーを作り、それぞれの遊びの場所を確保する</li> </ul>	<p>その後の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのコーナー遊びが、定まり、子ども同士の手取りも多くなるようになった。</li> <li>・アレルギーの子が、隣にいたため、互いに目を合わせて、度事が楽しめるようになった。</li> </ul>
2017年10月30日	2017年11月17日	2018年2月

<p>現状(問題点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本棚の向きが入口側のため、入口が遊び場になってしまっている。</li> <li>・テラスの横のところが、コーナーとしてうまく使えていない。</li> <li>・雑音(生活)を軽減しないように設定する場所がわからなかった。</li> </ul>	<p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本棚を水曜側に設置し、遊具棚を壁に平行に置いた。遊びの場が明確になりコーナーを区別しやすくなった。</li> <li>・茶室とコーナー間に、ついたてを置くことで、自らの空間をつくれるようになった。</li> </ul>	<p>その後の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑音を楽しめるスペースが確保でき、じっくり楽しめるようになった。</li> </ul>
平成29年5月31日	29年11月13日	



# 歳児別学習会

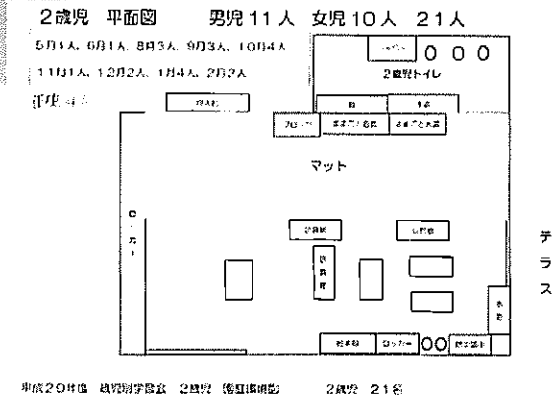


各園の0歳児担任が集まり、代表園の保育のビデオを見て、年齢の発達が見られる場面とその支援が見られる場面・課題と思われる場面などについてグループ討議し、外部講師から助言を受ける。1歳児・2歳児も同様に実施。

受講報告: 1週間以内及び3か月後取り組みの成果提出

# 歳児別学習会

動画とこの配置図を見て、動線・遊びの展開について学ぶ資料とする



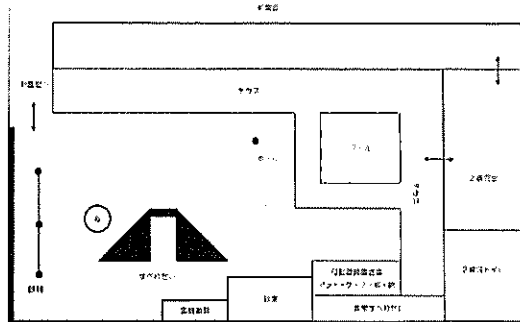
0, 1, 2歳児歳児別学習会研修報告書 施設 実施日 年 月 日  
 研修 年 月 日  
 氏名 施設長

<学習報告>  
 1. 研修を通して学んだこと  
 2. 自分が実践にできること(成功例、課題)を振り返りたいこと(課題)

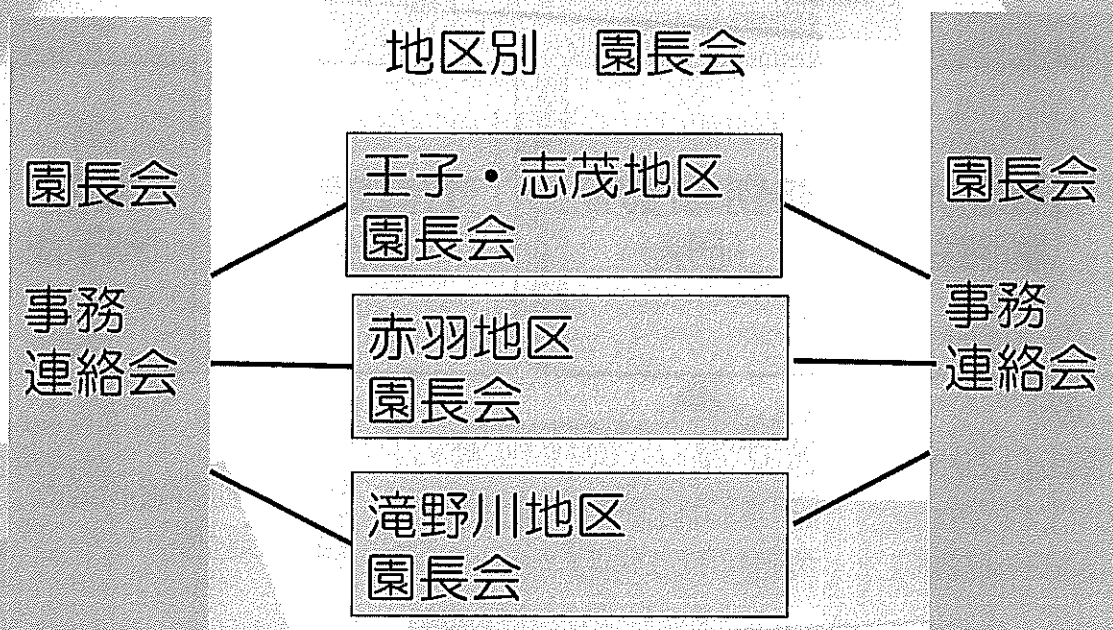
研修終了後7日以内(要領)に、主任が報告してください。 主任氏名 \_\_\_\_\_  
 1任氏名 \_\_\_\_\_

<受領後のふりかえり>  
 1. 研修参加の感想と評価、改善  
 2. 研修としての関わりと評価改善  
 3. 関係より

提出年月日 年 月 日  
 平成15年10月31日現在、保護者高利用率で提出していただく。

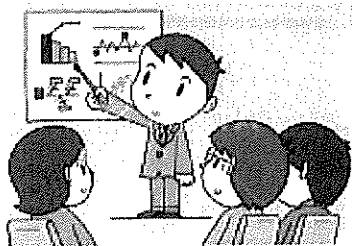


# 園長会 組織図





# 地区別園長会



王子志茂・赤羽・滝野川  
3つの地区別園長会の中で  
情報共有する。



研究保育(公開保育)  
失敗事例(怪我・事故・  
保護者対応など)

更に園長会で全園に共有。

19

# 資質向上に関する地域全体の連携

園長会主催

公民合同  
講演会

特別支援児  
研修

教育政策課  
研修

教育  
研究会

近隣区にも呼  
びかけ(文京・荒  
川・台東・板橋区)

私立園・小規模保育・  
家庭福祉員・認証保  
育園等の呼びかけ

小学校・幼稚園と  
共に実施

20

## 保育園・幼稚園・小学校連携

- 幼児期の教育の重要性を踏まえ、幼児教育の質の向上を図り、その後の教育の基礎を培うことを目的としている。
- 北区の幼児すべてが充実した教育を受け、家庭・地域とも連携し、発達と学びの連続性を踏まえた小学校生活との円滑な接続を目指す。

21

**子どもがじっくりと遊ぶことが出来る環境を整えて保護者とともに寄り添い、そしてひとり一人を大切にしたい保育を展開できる保育園を目指していきたいと思いをします。**

みなさんご清聴  
本当にありがとうございました



22